

解答・解説

第1回

答え

1 1 6 2 2 3 3 4 2

2 8

3 1 0 2 9 3 0, 2 (順不同)

考え方

1 絵を見て、条件に合うものの数を答える問題です。

4 複数の条件を考えなければならぬ、難しい問題です。まず、1つの条件にあてはまる絵を選び、印をつけておきます。そして、印をつけた絵の中からもう1つの条件にあてはまる絵を探せるとよいでしょう。

2 1から順番に、カードがあるかどうかを確かめる方法が確実です。

3 数の大小関係を考える問題です。

2 黒板に書かれている数が、条件にあてはまるかどうか、1つずつ確認して、答えを導きます。

3 ②と同様に考えます。答えが2つあることに注意できるとよいでしょう。

第2回

答え

1 1 (○) $7+0$ $2+3$ ()

2 (○) $3+6$ $4+2$ ()

3 () $5+4$ $5+5$ (○)

2 (例) $0+10=10$, $1+9=10$,
 $2+8=10$, $3+7=10$,
 $4+6=10$, $5+5=10$,
 $6+4=10$, $7+3=10$,
 $8+2=10$, $9+1=10$,
 $10+0=10$

3 1 4 2 7 3 10 4 8 5 9

6 10 7 9

4 1 3 2 4 3 1 4 2 5 2

6 0 7 3 8 0

考え方

2 式を書くときには、「=10」を省略してもかまいません。また、3つ以上の数のたし算を書いてもよいでしょう。

3 たし算だけの計算では、たす順序を変えて正しい答えを求めることができますが、今の段階では、前(左)から順番に計算するようにしましょう。

4 「1はあといくつで4になる?」のように考えます。または、□に適当な数をあてはめて計算し、計算結果が一致するかどうかを確かめる、という方法で考えることもできます。⑧では、「4と6をいくつで10になる?」と言いかえてあげるとよいでしょう。

第3回

答え

1 ○のなかま…4

△のなかま…4

□のなかま…3

2 1 3 2 5 3 6

3 1 ○ △ □

2 ○ △ □

4 1 ○ △ □

2 ○ △ □

3 ○ △ □

考え方

1 向きが異なっていても同じ形である、ということがわからない場合は、紙に形を写し取り、それを回転させて見せてあげるとよいでしょう。

2 平面図形を構成する辺に、注目する問題です。

3 立体図形の中に平面図形が含まれていることを学ぶ問題です。難しい場合は、身のまわりにある箱や容器の面を紙に写し取るという作業に取り組んでみましょう。特に②は難しいですので、円錐型のものを実際に見せてあげるとよいでしょう。

4 上から見た形と、下から見た形が同じであることに気づけるとよいでしょう。

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさ
を体験しよう!



かっこいい小学生になろう

